

全体を通して多かった質問（及びその回答）

Q. 4 kmの通学距離を歩くことは、子どもに大きな負担がかかるのではないか。

A. 文科省の通学距離の基準は小学生で4 km以内、中学生で6 km以内を目安としていますが、審議会の案では、中学生の通学距離は実測4 km以内を基準としています。4 kmを超える生徒については、生徒の負担が大きくなるように自転車やバス通学等を検討すべきであるという提案です。

詳細については、審議会答申後に、教育委員会が基本計画（案）を策定する段階で検討していきたいと考えています。安全面、環境面についても実際の通学路に合わせて検討すべきと考えています。

Q. バス通学になった場合、部活等で遅くなったときはどうなるのか。

A. 通学については、大きな関心の一つだと受け止めています。基本計画（案）策定の際には、部活動に対応する便を走らせる等も含めて、安全面の観点から十分検討していきたいと考えています。

Q. 現在、猪位金を除く2校での再編としているが、3校となることもあるのか。

A. この案は審議会の答申案であり、これが田川市としての決定ではありません。答申後、市民の皆さんの意見を頂きながら多方面からの検討を行い、教育委員会として基本計画（案）を作成していきます。

Q. 再編後、廃校となった学校の利用は決まっているのか。

A. 具体的にはまだ協議されていませんが、基本計画（案）の策定作業と同時進行で検討していきます。

Q. 中学校は、避難所としての役割があるが、再編後閉校した学校は避難所として機能しなくなるのか。

A. 市役所内の関係課との協議で、安全、安心を守るための検討をしていきます。

Q. 新しい学校の増設等の話がでていたが、予算の裏づけはあるのか。

A. 改築、環境整備、通学路の安全性については、多額な財政負担がありますが、長期財政計画の中では見通しを立てています。

Q. 再編後、生徒数が増え、不登校が増えるのではないのか、本当に学力が上がるか。

A. 現中学校は7校とも小規模校になっており、教員が少ない上に教員以外の職員配置が厳しいのが現状です。審議会からは再編された学校においては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門的な職員配置による対応の充実を求められています。

また、再編後、教員が増え、チームティーチングなど一人ひとりの学力にあった学習形態ができ、学力向上に繋がると考えています。

生徒数が増えることで心配な点もあると思いますが、現在の子供たちの教育環境は厳しいものがあります。一人ひとりの子どもに効果的な対応が可能な体制を目指し、子ども達にとってよりよい教育環境をつくるという基本的な考え方のもとで検討していきます。

Q. 金川地区の小中一貫校の取り扱いはどうなっているのか。再編案に影響はあるのか。

A. 今回の中学校の再編については、小規模校になっている市内の中学校の課題を解決することを目的の一つとしています。小中一貫校は生徒数減少による課題の解決にはならないものと考えています。金川校区の請願については、審議会及び田川市教育委員会でそれぞれ審議しています。

Q. なぜ、再編案に猪位金学園が除外されているのか。

A. 平成18年1月に、「田川市立学校適正規模審議会」が、猪位金校区を小・中一貫教育のモデル校区として検討するよう田川市教育委員会に提言したことが契機となり、猪位金学園は、平成26年4月に小中一貫校として開校しました。

同学園は、過小規模校の問題を抱えていましたが、通学距離が当時の文部科学省の基準に適合せず、統廃合の対象外となった経緯があります。

全体を通して多かった意見（来場者アンケートの自由記述を含む）

※上記Q&Aと内容が重複するものは除く

1. 再編案に関すること

- (1) 学校が遠くなると、市外への流出が増える
- (2) 段階的に再編していくことはできないのか
- (3) 再編ではなく小中一貫校を設置してほしい
- (4) 猪位金学園も含めて再編を考えるべきである
- (5) 猪位金学園を残すことは再編議論と矛盾している
- (6) 猪位金学園の通学校区を他校区からも通えるように広げてほしい
- (7) 学校施設の整備は、市の財政状況が厳しいので実現できないのではないのか
- (8) 再編時の3年生は落ち着いて勉強ができないのではないのか
- (9) 再編時の2年3年生は、在籍していた中学校で卒業させてほしい
- (10) 再編前の学校間交流はどのように計画しているのか
- (11) 再編のメリットだけでなく、デメリットも説明してほしい
- (12) 再編について現場の教員の意見も聞きたい
- (13) 再度アンケート調査をしてほしい

2. 通学方法等に関すること

- (1) 通学路の安全を確保するために道路整備や街灯整備をしてほしい
- (2) 自転車通学は心配だ
- (3) 徒歩4kmでは親の送迎が増えて道路の混雑や事故が心配だ
- (4) 通学距離が長いと親の負担が増える（送り迎え、朝早い等）
- (5) 通学時間が長いと統合のメリットが減るのではないのか
- (6) 自転車通学を許可する場合、購入費の補助も検討してほしい
- (7) バス通学は費用負担が発生するのか
- (8) 運動会などの行事の際に駐車場を確保できるのか
- (9) 隣の校区の学校のほうが近い地域は、学校を選べるようにしてほしい

3. 地域コミュニティやまちづくりに関すること

- (1) 地域の交流や取り組みが減るのが心配だ
- (2) 再編後の校区活性化協議会のあり方をどのように考えているのか
- (3) 人口を増やす施策に取り組むことも必要だ

4. 学校教育に関することについて

- (1) スライドの説明どおりに教育環境が整えば理想的だ
- (2) 学力の向上を期待したい
- (3) 教員数が増えることはよいことだ
- (4) 習熟度別授業（習熟度によるグループ分け）は、子どもが意欲を無くすのではないか
- (5) 学力の向上や格差縮小に繋がるとは思えない
- (6) 学力向上や生徒指導の問題は、教員の数より力量の問題だ
- (7) 部活動が活発な学校になることを期待したい
- (8) 部活が増えるのはいいが、教員の負担も増えるのではないか
- (9) 再編で部員が増えると試合に出る機会が減る（レギュラーになるのが難しい）
- (10) 学級数が増えて活気ある学校になるのはよいことだ
- (11) 生徒が大人数になるので、子どもの人間関係などに不安を感じる

5. 説明会に関すること

- (1) 対象となる保護者や若い世代の参加が少ない
- (2) 説明会の規模が大きすぎて、発言しづらい
- (3) 当事者である保護者から意見を聞けるような説明会を設定してほしい
- (4) 参加者が増えるように呼びかけを工夫してほしい
- (5) 会場での託児を検討してほしい
- (6) 給食に関する説明もしてほしい

各会場での意見・要望

※再編問題と直接関係のない意見・要望は割愛しています。

【後藤寺小会場】

1. 再編案に関すること

- ・事前報道で既に2校が決定事項であるかのような感じがした
- ・新聞報道などで見て、決定事項と捉える市民もいるのではないか
- ・再編に絶望している
- ・今回の案には合理性があると思う
- ・再編しても学校が荒れていると、これまで通り私立中学校等へ流出する
- ・今後入学してくる児童生徒数の実態はつかんでいるのか
- ・校区の学校より近い学校がある場合はどうなるのか
- ・自由選択制には猪位金学園も含めて導入するのか
- ・一気に2校としてしまうのはいかがなものか
- ・経費の額に関係のない統合ならば3校でもよいのではないか
- ・小中一貫校をつくれれば学力が上がるのではないか
- ・新校舎ではなく、一部改築で良いのではないか
- ・一定の条件が整っている後藤寺中を除外することは理解できない
- ・猪位金を一貫校にしたことは、今回の再編と矛盾するのではないか
- ・校区のエリアが広がるので、親の目が届かないところまで遊びに行くようになるのが心配だ
- ・中3で統合される生徒は、中1から新中学校の学校へ通っていいのか
- ・金川校区から小中一貫校の請願がでていたが、他校でも同じような意見がでるのではないか

2. 通学方法等に関すること

- ・通学時間が片道1時間は長すぎる
- ・子どもたちは4kmの通学距離を歩けるのか。距離と通学方法の検討をお願いしたい
- ・バスの発着の仕組みが気がかりだ（補習、部活などへの対応はできるのか）
- ・通学バス、自転車のルールをきちんと決めてほしい
- ・自転車通学を許可するならば、自転車をもっていない人への配慮をしてほしい
- ・地域住民も協力して通学路をはっきりさせてほしい
- ・次回の説明会では通学方法の具体案を示してほしい

3. 地域コミュニティやまちづくりに関すること

- ・田川市の人口を増やすことが大切だ

4. 学校教育に関することについて

- 新中学校に対するイメージがわいた
- 学校数がすくないので、学校対抗戦などが減り、がんばろうという意欲が下がる
- 交友関係が広がるのはいいが、悪い方に傾くことが心配
- 再編で生徒間のトラブルが増えるのではないか
- 再編で待機教員数が増えても生徒数やトラブルも増えるので、対応できない
- 学力レベルが高い落ち着いた学校が良い
- 学力アップできるように努力してほしい
- 生徒指導や学力向上のための対応はどうなるのか
- 教師の指導力アップをお願いしたい
- 部活は部員が増えれば活躍の場が減る
- 部活を増やすのはいいが、教員の負担が増えるのならば意味がない
- 再編した学校に、前の学校と同じ部活ができるか心配
- 公立学校で特色を持たせる意味がわからない
- 給食は自校式であたたかいものを食べさせてほしい
- ランチボックス導入で高価な機材を購入するのは、再編を前提と考えたら無駄である
- 給食でアレルギー対応はどうなるのか

【伊田小会場】

1. 再編案に関すること

- ・慎重に審議していただいたと感じる
- ・現状から考えると再編は仕方ない。
- ・住民の意見を最大限尊重して、基本計画を作ってほしい
- ・「メリット」についてすべて納得がいかない
- ・再編後のメリット（スクールソーシャルワーカーの配置など）が本当に実現できるのか
- ・学校再編は重要な問題なので、今後20年、30年を見据えて考えてほしい
- ・高校進学を見据えた上での学校づくりも必要ではないか
- ・特色が違う学校をつくるより、同じ教育内容、教育活動の学校が2校あったほうがよい
- ・「同じ学校を2つ（特色は必要ない）」という意見に共感した
- ・再編の第一段階として、まず小学校の空き教室に中学が入ると言う考えはないか
- ・猪位金学園も再編の対象に入れてほしい
- ・猪位金は子どもの数が少ないのに、校区を広げないのはおかしい
- ・彦山川が氾濫した場合、伊田小は危険なので、高台にある伊田中は残してほしい
- ・個人的には4校区にすれば無理がないと思う。
- ・2校は賛成だが、田川中を後藤寺中にすべきだ
- ・距離や面積だけで決めて欲しくない
- ・伊田が外れた理由が面積だという印象だが、26000㎡必要との根拠がわからない
- ・どの校区も小中一貫校を作るのがよい

2. 通学方法等に関すること

- ・自動車に乗らない保護者は、学校に行く際どうやっていけばいいのか
- ・「文科省の基準」というが、実際に田川市を歩いていないと思う
- ・審議会の委員は実際に通学路を歩いて安全を確保すべきだ
- ・学校からの距離は実測してほしい
- ・通学距離の矛盾が出た場合は、学校を選べるようにしてほしい
- ・自転車通学の場合、道路整備もあわせて考えてもらいたい
- ・朝は車も多く自転車通学は心配だ
- ・通学距離が長い場合通学バスの導入を考えてほしい。
- ・バス通学を採用するなら、学校ごとに、かつ帰宅時は何回かに分けた運行行程をつくってほしい
- ・通学の安全が確保されれば、特に意見はない

3. 地域コミュニティやまちづくりに関すること

- ・2校では地域交流が難しい
- ・避難場所がなくなるのは困る

4. 学校教育に関することについて

- 子どもたちが夢と希望をもって通学できるよう充実してほしい
- 子どもたちが誇れる学校にしてほしい
- 教師の必要性はわかるが、多ければ良いとは思わない
- 新中学校の内容を是非実現してほしい
- 高校みたいな中学ができると感じだ
- 学力向上が保護者と子どもの願いだと思う
- 現状の生徒数が2倍以上になると、生徒の戸惑いが大きいと思う
- 統合した当初は生徒同士の小競り合いが起こるのではないか

5. その他

- 参加者を増やす努力（呼びかけ）が必要ではないか

【弓削田小会場】

1. 再編案に関すること

- 再編により交付税が減るなど市の財政はかえって厳しくならないか。対保護者だけでなく、対市民への細かな説明が必要と思う
- 審議会に対して再編により市の財政がどのようになっていくか説明すべきだ
- 子どもの過ごしやすさ、学びやすさのために再編は必要
- 本市の中学校は小さくなり過ぎ子どもにとって不利。1日も早い再編を望む
- 答申を受けて、課題を解決しながら子どものための基本計画を作ってほしい
- 金川を小中一貫校にして、鎮西と後藤寺に新中学を作り、将来的に中高一貫校を視野に入れると駅前が栄える
- もし、2校になった場合、距離的に近い猪位金学園も選択できるのか
- 猪位金学園を特別扱いしすぎだ
- 小中一貫校を校区ごとにつくれないか
- 大規模校の良さが説明され、一方で審議された時代が異なるということ猪位金を残す。田川市はどちらを正とするのか。
- 兄弟姉妹で別々の学校に行かざるを得ない子がでてくるのではないか
- 賛成、反対の意思を市民に確認するのか
- 年齢を重ねるにしたがって学校規模は大きくなるので、子どもの健全な発達にとって大切だ
- 中央中は体育館を建て替えたばかりなのに閉校になるのなら、なぜ建て替えたのか
- 自分の子どもが中2から学校が変わるのは不安だ
- 具体的な教員の配置数を示してほしい
- 兄弟姉妹で別々の学校に行かざるを得ない子がでてくるのではないか

2. 通学方法等に関すること

- 通学路、通学時間、個々の体力、受験生への配慮などもっと詰めて考えてほしい
- 1時間の通学は、受験生にとっては時間のロスが大きい
- 通学路が複雑になるので危険区域を判断することが大切
- 通学距離が長くなり不安
- バスルートを具体的に示してほしい
- バスの本数も検討してほしい
- スクールバスを検討してほしい
- バス代の免除などの検討をしてほしい
- 現実的に考えて4km以内の徒歩は危険が大きいと思う。自転車やバスも難しくないか
- 重い鞆をもって片道1時間の通学は、中学生には酷すぎる
- バス通学は3kmを目安にしてほしい
- 北中学校区は校区が広すぎる。雨天の通学も想定しているのか
- 弓削田は猪位金学園のほうが近い。猪位金学園に校区外から通学できるようにしてほしい

- 通学距離はこれまであまりにも近過ぎた
- 体の弱い子などは、4 kmに限らずバス通学の対応を考えてほしい
- バスの運賃については遠方の世帯が損をしないよう配慮してほしい

3. 地域コミュニティやまちづくりに関すること

- 家庭地域と連携してきたこれまでの田川市の取組が薄れてしまうのではないか
- 校区活性化協議会をはじめとする地域コミュニティを守ってほしい

4. 学校教育に関することについて

- 今の中学校の教育方法を見直すべきだ
- 教師の数を市費で増やせないのか。また探す努力が不足しているのではないか
- あとは、学校に意欲をもって通え、学校が問題にどう対応するかだ
- 教育の質の向上が果たして図られるだろうか
- ホール型多目的スペースは、声が他のブースに響き、使いづらい

5. その他

- 参加者が少ないのに驚いた
- 小学校の授業参観後などにもう一度説明してほしい
- 今の小学校にもっとお金をかけてほしい

【鎮西小会場】

1. 再編案に関すること

- 再編は難しい課題だが、今日の説明はよくわかった
- 説明はよくわかったが、2校になるのは「これはいい」とははっきり言えない
- 説明通りのメリットで再編できれば理想である
- 将来を担う子どもにとって一番良い方法をとってほしい
- 改築する場合、その時の在校生に支障がでないような対応は考えているか
- 開校まで時間がかかりすぎではないか。もっと早く再編をすすめることを求める
- 学校整備費用の予算的裏づけはあるのか
- 他の地域の再編成功モデルなどは把握しているのか
- 7中学校の今の教員が、全て2校に配置されるのか
- 再編によって余剰となった職員はどうなるのか
- 多くの学校が統合することで様々な課題がでてくると思うが、丁寧な議論の上での統合準備をしてもらいたい
- 工事期間中、子どもの安全面に配慮し、子どもの貴重な時間を潰さないでほしい

2. 通学方法等に関すること

- 子どもが楽しく通学できるよう良い環境になればよい
- 部活動をした後に4kmを歩いて帰るのはきつい。安全面を考慮しているのか
- 通学路は実際に歩いてみたのか

3. 地域コミュニティやまちづくりに関すること

- 開校前の中学間の交流は多くできるとは思えない。

4. 学校教育に関することについて

- 教師が専門別に指導できることが、うまく機能していけばいいと思う
- 子ども一人一人に目を向けてもらい、意欲の向上や人間関係の円滑さに繋がってほしい
- 先生方の熱心なかわりを期待したい
- 荒れている子どもへの指導では、力で押さえつけないでほしい
- 絵に描いた餅に終わらないためには、先生方が子どもたちの想いをしっかりと受け止められるようになってほしい
- 再編実現に向けて、英語授業、カウンセリングなど先生方のスキルアップを早く始めてほしい
- 再編すればいじめが減るとのことだったが、教師の力量がないと逆に増えるのではないか
- 小学校時の計画的交流と言うのは、時間がかかり学習遅れが発生しないか心配
- 再編にあたって優秀な教員を集めてほしい

5. その他

- 朝早く家を出ることになるため、給食実施は不可欠である
- 他校区の人の意見も聞いてみたい
- 審議会は一般の人も入っているのか

【金川小会場】

1. 再編案に関すること

- 説明にあった理想的なビジョンを実現のものとしてほしい
- 再編を実現できるとは思えない
- 再編問題は大人の意見より子どもたちの意見を優先してほしい・小中一貫校にすれば経費節減につながる
- 金川を小中一貫校にして、残る校区で西区、東区に1校を設置してほしい
- 金川校区で小中一貫校を設立できない理由を明確に示してほしい
- 最終的には小中一貫校ができない場合は、2校ではなく3校にして、金川を残して欲しい
- 金川が仮に小中一貫校になったら、他の学校に取り残されそうで心配
- 猪位金学園が小中一貫校になった理由を説明してほしい
- 学力を保障するために2校ではなく3校にしてほしい
- 金川校区の交通や取り組みを調査した上での説明会とは思えない
- 住民の意見を親身に聞いて、金川の現状を検証してほしい
- 校区を設定せずに自由選択制にすればよい
- 学力や部活を強化する学校を1校設置して自由選択制にすればよい
- 市教委は人口が増えることはないとおきらめているように感じる
- 人口を増やす施策に取り組んでほしい
- 共働きの家庭が多いことなどにも目を向けて議論してほしい
- 国や県に田川の現状を訴えてほしい
- 再編すれば幼保小中を地域家庭で育てていることが全て無駄になる
- 小規模校のままで問題ない
- 学校施設の整備は、田川市の財政状況から考えて現実的ではない
- 新中学校は魅力的な面もあるが、私立・県立と似た学校に感じる
- 施設整備や人材配置で新たに膨大な負担が生じるが、市民として認められない
- 現存校舎の整備や教員の配置に費用を費やしてほしい
- 市の財政事情を考えて、できるだけ既存施設を利用したほうがよい
- ポートスタッフや部活動指導員の財源はだれが負担するのか
- 再編案の校区割はよいと思う
- 伊田校区の西側は田川中のほうが近い
- 小学校も再編する必要を感じる
- 再編だけで学校がよくなるのか
- 金川の地域、学校、家庭が一体となった歴史的取り組みを重視してほしい
- ひとり親家庭、生活保護、非常に厳しい家庭環境の問題があることを踏まえて考えてほしい
- 教師、地域の努力で金川は全国のモデルになったことも踏まえて議論ほしい
- 教師の意見は聞いたのか
- 給食実施に取り掛かろうとしているが、再編にあわせて自校方式で取り組む予算に回してほしい

2. 通学方法等に関すること

- バスは民間のバスなのか
- 自転車通学は悪天候の際に問題がある
- 田川中に行くにはバイパスを歩いていくことになり心配

3. 地域コミュニティやまちづくりに関すること

- 母校がなくなるのはさみしい
- 金川独自の取り組みがなくなるのはさみしい
- 地域とのつながりが薄れることが心配
- 地域性を大事にする方法を考えてほしい
- 地域コミュニティを守る視点から自由校区にすることには疑問を感じる
- 子どもたちの地域への愛着がへる
- 高齢者の生きがいを奪うことになる。
- 地域みんなで子育てをしている（今後もこのまま育てていきたい）
- 九州や全国の研究発表会で金川の協働教育の素晴らしさを発信してきた
- 保護者同士の関わりや伝統の継承などは、市内では類を見ないと確信している
- 地域がしっかりしていないと学校が落ち着かない。
- 地域が崩壊することを心配している
- 金川校区から市外中学校に行ったのは2人だけだ（金川校区の良さの表れではないか）

4. 学校教育に関することについて

- 生徒数を増やしても成績の向上にはつながらない
- 成績だけでなく、心を豊かに、強くする教育にも目を向けてほしい
- 学力向上は小学校からの取り組みが必要（中学校再編だけでは結果を望めない）
- 学力が低いのは教員の責任のような説明に聞こえたが、先生方は一生懸命やっている
- 学力を優先した考え方に差別を感じた
- 市立中学校の学力の実態は、優秀な生徒が流出しているので低いのは当たり前だ
- 再編で学力格差が縮まるのか、子どもたちのやる気が高まるかに疑問がある
- 生徒が多くなっても、問題がある子の学力が伸びるように対応してほしい
- 学力向上、いじめ、学級崩壊などは先生の力量で改善できる問題
- 成績別でA組、B組などと分けるといじめにつながる
- 習熟度別の指導は教科別に行うのか、クラス自体を編成するのか
- 地域の学力が低くても、地元の学校には学力だけでは計れない良さがある
- 学力面が優れた学校より、地域とのつながりのある学校を選ぶ家庭もある
- 問題がある子が集まることに不安がある
- 子どもたちの競争心が芽生え、部活動が活発な学校になるよう願う

- 問題を起こす生徒には、職員の組織的な対応も必要ではあるが、問題を起こす生徒をつくらない取り組みが必要ではないか
- 授業を邪魔する生徒を教室から追い出すように感じたが、その子たちをどう指導するのか説明してほしかった
- 特別支援学級は無くなるのか
- 今まで2学級だったのが6学級に増えるのは不安だ
- 今の中学校の現状について、教員の意見も聞きたい
- 再編して進めようとしていることが実現可能か、教員の意見を聞きたい
- 1学年4学級程度の規模がよい
- 知らない子が集まった中学校がうまくいくとは思えない
- 6～7学級あると運動会などの行事で活躍機会が減る
- 学級が多すぎて、特別教室やプールなどの利用頻度が減るのではないか
- 加配教員の配置を前提としていない説明に納得がいかない
- 学校図書館に専任の司書教諭を置いて学習拠点に利用することも検討してほしい
- 学級数が増えて元気ある学校になることはよい
- 教育委員会の「育てたい子どもの理想像」を聞いてみたい
- 学力の高低は学校より塾の影響が大きい
- 金川小から金川中に進学した際に国語と数学の成績が落ちるのは、教科担任制になる中学で、先生になじめないからではないか（子どもたちからそういう意見を聞いた）
- 学校において子どもたちが先生になじむ方法を教育委員会で勉強して欲しい
- ICT教育やTT授業はいつから始まるのか

5. その他

- 小さな子どもがいるので、昼間の時間帯に説明会を開催してほしい
- 説明会の規模が大きすぎる。反対者の意見が声高にある中で、賛成者は意見が言えない
- 小さな規模の説明会で賛成の人が意見を言える場を設定してほしい
- 当事者である保護者との対話の場を設けてほしい
- 前回の説明会で意見要望したことに対して市教委から返答をもらえなかった
- 次回説明会では、本日の意見に対する結論を説明してほしい
- 今の意見を審議会に伝えてほしい
- 審議会の答申案の段階という状況が理解されておらず議論がかみ合わなかった
- 田川市が小中一貫校を推進した猪位金学園の成果を教えて欲しい
- どうしたら一貫校を作れるのか教えてほしい

【田川小会場】

1. 再編案に関すること

- 審議会の答申の考え方がわからない
- 新聞に出る前に説明会を先にするべき
- 説明会前は不安だったが、説明を聞いて安心した
- 反対意見も多いが一つひとつ検討し是非実現してもらいたい
- 多くの意見が出ていたが、審議会案が良いと思う
- 様々な問題があるが、お金・人材・子どもの3点から考えるべき
- 2校に絞ることは賛成
- 3校案にして徒歩通学への配慮をしてほしい
- 猪位金学園も一緒に再編すべき
- 猪位金学園に対する評価がでていない
- 猪位金学園をモデルとしてもう少し検討し、反映した方が良い
- なぜ、猪位金だけが一貫校なのか
- 小中一貫は小規模校の課題が解決されないのでは、是非合併してほしい。
- 小中一貫校で教員が小中の生徒指導をしているのなら、小中一貫校でいいのではないかと
- 市の方針でつくった猪位金学園が良い成果を上げているなら、全ての中学校を一貫校にすればよいのではないかと
- 審議会の小中一貫校の位置づけがわからない。
- 他校区が小中一貫を希望したらどうするのか
- 昔の東区と西区の中間にあり、中央校区全体から見れば小中一貫校が望ましい
- 施設をつくる計画段階で、教員の意見を入れてほしい
- 子ども達が多くを学び、素晴らしい学校になることを願っている
- 文化的中心地の中央中学に設立検討をお願いする
- 再編を進めることは文部科学省の方針か
- 再編を進めない場合、国からペナルティーがあるのか
- 再編で生徒が多くなり、部活も盛んになるのでいいと思う
- 新しい土地に建てたほうが、コストがかからないのではないかと
- 生徒流出は減ると考えているのか
- 学校整備の財源はあるのか
- 北中に希望者が殺到しそうだ
- 伊田小校区や田川小校区は、北中に行きたいのではないかと
- 校区選択制で抽選からもれた子どもはどうなるのか

2. 通学方法等に関すること

- 「4 km以下は徒歩」はもう少し距離を短くしてほしい
- 通学がネックになるので3～4校に増やすべき

- 通学時の安全指導は頻繁にしてほしい
- スクールバスを利用した場合、バス代はどうなるのか
- 徒歩圏内は1 km程度とすべきと思う

3. 地域コミュニティやまちづくりに関すること

- 平松町、千代町、高住町を田川小学校に編入すれば活性化も今まで通り活動できる

4. 学校教育に関することについて

- 子どもの個性を先生が理解できるのかが心配
- 「自転車のルール指導」は学校が教えることではなく、親が教えるべきことと思う
- 学力格差は経済の格差と言われている。市外流出者の学力と経済の関係はどうか

5. その他

- 子育て世代の参加が少ない。SNSや小学校教員の協力を得てはどうか
- 途中、無意味なクイズ大会のようになりましたが、最高の形での開校を願う
- 「猪位金だけなぜ？」など質問の質が低く、行き届いた学校生活を送るための質問が全く出なかったことが残念

【大浦小会場】

1. 再編案に関すること

- 2校案に賛成
- なぜ2校なのか。教師の負担はかえって増すのではないか
- 小中一貫校とすべきである
- 猪位金学園で一貫校の成果が出ているなら、一貫校を増やしたほうがよい
- 中高一貫校の設置は考えていないのか
- 答申案で「期待します」と多くあったが、それを実現して行く体制があるのか
- 審議会で中高一貫の検討はなかったということだが、県立大と連携して中高一貫をつくるという新聞記事を見たことがあると思ったが見間違いか

2. 通学方法等に関すること

- 部活等で遅くなり、通学バスが十分に対応できない場合、自家用車での送迎が増すのではないか
- 4kmは遠い。自分の職場が4kmの所にあっても歩くか

3. 地域コミュニティやまちづくりに関すること

- 子ども達が地域を愛し、自己実現可能になる姿を望む
- 子どもを育てるために学校家庭地域の協力が田川市の一番の魅力なのだが、再編した中学校でこれをどう継続していくかが問題
- 大浦小は2小1中（大浦小と後藤寺小が後藤寺中に通う）校区であり、2小で交流や活動をしている。今までの文化や歴史をどう評価しているか。
- 校区活性化協議会のあり方などについて意見をする場はあるのか

4. 学校教育に関することについて

- 教職員の若年化が進むが、教職員の資質向上を図る施策も必要
- 生きる力をつけて行けば、学力はおのずと上がってくる
- 部活動は外部指導者で全部できるのか。（できなければ教員の軽減にならない）
- 教科担任が複数になるのはよい
- 教師が増えても教員の軽減にはならないのではないか
- 家庭の教育力が下がり、発達障害の子が増えてきている。今の学級数でも十分な対応ができていないので今のままのほうがよい
- 多人数での子どもたちのいい意味での競争もあってほしい
- 子ども達の豊かな育ちを願っている

5. その他

- 給食は自校式でおいしいものにしてほしい
- 教育長の考えを聞いてよかった
- 中学校再編で満足せず、明日からできることを考えてほしい
- 次回説明会の案内には、現在の何年生から対象なのか、いつ再編する予定なのかを明記してほしい
- 市民アンケートを全世帯で行い、世代別に集計して結果を公表してほしい
- 中学校給食はどうなるのか
- 説明会への参加が少ないので、できる限り多くの意見を吸い上げる努力をしてほしい
- 説明会の周知が十分ではない

【大藪小会場】

1. 再編案に関すること

- 建替え時の在校生は、どこで学校生活をおくるのか
- 中長期的にみて教職員の確保は可能なのか
- 新中学校の学級数と教員数はどのくらいになるのか
- 学校の整備に関する説明は魅力的に思えた
- 小学校間の交流は、市が計画して実施してくれるのか
- 小学校の交流とは具体的にどんなものか
- 学校間交流で学習時間が減るのではないか
- 25年後まで減少を見込んだ学校体制なら、途中をどう考えているのか
- 審議会の「新中学校のあり方」案は、予算が多額で実現は難しいのではないか
- 中高一貫校を進めるほうがよい
- 荒れている学校との統合は難しい
- 開校時の3年生だけは、元の学校で卒業させてほしい
- 再編時の2年、3年生の担任配置やクラス編成を重要視してほしい
- 開校時の3年生のサポート体制をさらに具体的に示してほしい
- 開校時の2年生3年生は制服を新しくしなければならないのか
- 下水道終末処理場の横に学校を建設するのは悪臭やアレルギーが心配
- 日通工跡地は下水道終末処理場として使わないのか
- 早く再編を実行してほしい
- 再編が前進することは良いことだ
- スライド通りの学校ができれば理想的
- 私立流出が少なくなるような中学校をつくってほしい
- 再編時の2年、3年生は、前中学時に新中学校の制服や体操服を購入できるようにしてほしい
- もう少し具体的な話にならなければ意見が言えない
- プリントにメリットデメリットを明確に示して配布してほしい
- 再編問題が市民に浸透して理解が深まってきている。もう一度アンケート調査をして具体的な不安などを聞くとよいのではないか

2. 通学方法等に関すること

- 徒歩往復2時間により、不登校になる生徒が生じないか

3. 地域コミュニティやまちづくりに関すること

- PTAの連携の負担は変わらないのではないか

4. 学校教育に関することについて

- 教育環境や部活動の環境がよくなれば、中学生も前向きに頑張れる
- 教室にエアコンがつくなら、夏休みも学校で勉強させてほしい
- 小規模校のデメリットはわかった
- 学力別にクラスを分けると意欲が下がるのではないか
- 学校数が減ると、部活動で（学校間の競争が減って）意欲が下がらないか

5. その他

- 早く給食を実施してほしい
- 説明会で出た意見や質問を印刷して保護者に配付してほしい
- 給食は実現できるのか

【猪位金小会場】

1. 再編案に関すること

- 説明はよくわかったが、再編には十分に時間をとってほしい
- 大きな中学校2校と小規模の猪位金学園では、子どもの数の勢力に違いが出過ぎるのではないか
- 子どもが市外中学校へ流出する理由をしっかりと把握して再編してほしい
- 18年の答申にあったように田川中と中央中の統合を進めてほしい
- 猪位金の文化の発祥源は140年の歴史をもつ猪位金小学校であることを肝に銘じてほしい
- 資料の「猪位金を除く」の表記に対する回答がしっくりこなかった。検証ができていないというのは違うのではないか
- 猪位金学園に市内のどこからも入れるようにしてほしい
- 猪位金に他校から入ってくるのは良いことだが、学級数が増やせる広さがないために、子どもは増えるが教員数は変わらないこととなって、きつい状況になるのではないか
- 新中学校に求める体制は、良いことが多かったが本当にできるのか
- 猪位金はモデルとして設立されたが何のためのモデルだったのか。小規模校としての猪位金の課題解決策を提示してほしい
- 猪位金の施設設備などに対して教育格差と指摘されるが、特色ある学校づくりと捉えて説明をしてほしい
- 伊田校区の西側は田川中に近いが、距離が近い学校を選んで行くことはできないか
- 弓削田は猪位金学園のほうが近いのではないか
- 再編した2校で自由選択制が導入されたとき、猪位金学園も自由選択制が関係してくるのか
- 再編で新しい学校が良くなるなら、猪位金学園を再編から除いているのはおかしい
- 猪位金学園をこのように進めていながら、一方では他の校区を再編したいというのはおかしい
- 生徒数が減るなら学級の編制基準を下げないと学校規模を維持できない
- 猪位金校区だけ優遇されているという意見が他校区で多いが、猪位金小中一貫校は平成18年答申に基づいたものである
- 再編案は田川市の歴史を重んじた案とは思えない
- 田川の歴史、文化などの視点をもって「後藤寺中」「伊田中」「猪位金学園」とし、金川は請願を活かす方向で検討すべき

2. 通学方法等に関すること

- スクールバスは市直営にすれば雇用も生まれるのではないか
- 平成33年開校なら通学方法の検討は急ぐべき
- バス通学の具体的運行方法は考えているか
- 民間のバスを利用するより、市で雇用してバスを運行したほうがよいのではないか

3. 地域コミュニティやまちづくりに関すること

- 猪位金学園の今後を考えると、現在の校区を超えて子どもを受け入れるべき
- 活性化協議会の活動は新中学校区で可能なのか

4. 学校教育に関することについて

- 講師数を減らして正式採用者を増やすために、1学級あたりの児童生徒数を減らしていく方向を目指さなければ、本質の解決はできない。(10年以上継続している講師は必要な教員なので採用すべき)
- 配置された教員に講師が多いことも学力低下の原因となっているのではないか
- 学校の校訓を大切にされた指導をしてほしい
- 猪位金学園はモデルなので、青山学院との連携を深めて英語教育で特色を出すべき
- 部活動などで市内学校対抗になると、大きな2校と猪位金で対戦するのか。

5. その他

- 新中学校には、玄関付近に国旗掲揚台を設置してほしい
- 開校式では国歌斉唱をいれてください
- いじめを理由に区域外の学校に入ることはできるのか
- 猪位金校区から他校に行きたい場合は行けるようになるのか
- 猪位金学園の9年間のカリキュラムは他校区とは違うが、中1で他校に編入しても大丈夫か
- 猪位金学園の成果を検証していないのはおかしい